

桜守

(広報誌第八号)

財団法人

吉野山 保勝会

福井良盟新理事長 挨拶



「財団法人 吉野山保勝会理事長就任のご挨拶に代えて」

***** 宮坂敏和先生の思い出 *****

昨年末、長年保勝会理事長を務めて頂いた藤井泰育前理事長より、次年度からの理事長をと伝えられた時、思わず脳裏に浮かんだのが、元吉野山小学校の宮坂敏和先生のお姿であった。私が小学校へ通ったのは、もう50年以上前の話である。その頃の吉野山小学校では高学年になると校長先生の時間というのがあった。ある時宿題が出された。「次の授業迄に、吉野山の道端に建っている歌碑をみつけて何を書いてあるのかお父さんお母さんに聞いてくるように」というものだった。国語や算数は毎日授業があるので宿題はその日の内にやっておく必要がある。ところが、一週間に一回の授業だから、そのうち捜しに行こうと思いながら一週間が経ってしまった。一人ずつ自分の見つけた歌碑・句碑を発表し、見つけられなかった者はどこからどこまで捜したかを云わされた。例えば中町の児童が「学校から八木屋まで歩きましたが有りませんでした」と答えると、校長は「惜しいね、勝手神社の中へ入れば見つかったのに」となぐさめ、その歌碑の意味や歴史的背景について解説された。よしこの手で行こうと考えた私は「宮坂から家まで捜しましたがありませんでした」と答えた。直ぐさま校長は顔を真っ赤にして、どなりつけるように「心そこにあらざらば 見えども見えず 聞けども聞こえず」と和歌のように、都々逸のような言葉を示され、その解説に残り時を全部使ってしまった。私の住む竹林院の庭にはその当時、3基の歌碑が建っていたのです。宿題を忘れただけで何故あんなに叱るんだろうとその時は怒った校長先生に腹立しくさえ思っていたものです。しかし成人するにつれこの事を思い出す度に何となく理解できるようにもなってきました。「自分の足元から全てが始まるんだよ」「吉野山には他所の子供達には経験できない学習の機会があるんだよ」そんな事を校長先生は児童達に伝えたかったのではないのでしょうか。さくらんぼ拾いも校長の宿題、毎年6月始めに出される宿題でした。宿題の前後に必ずこんな話をされました。「君達がさくらんぼを拾い集め、苗を作り、その苗を全国に贈って花を咲かせることは、この吉野山の為にもなるばかりでなく、日本国の為にもなる」と。昭和30年前後、未だ「戦後」といわれた時代です。桜は軍国主義の名残り、特に特攻隊の精神を表す花と見られていました。子供心にさえ、校長先生は右翼かなと思えました。宮坂先生に対する和の誤解は高校の時 本居宣長の「しきしまのやまと心を人間はば朝日に匂ふ山桜花」の歌に触れ、大学生になって小林秀雄の「もののあはれ論」を読んだ時、やっと解消することができました。私達の吉野山に生きる桜は、単にその姿の見事さを愛でる対象であるだけではなく、日本の文化とそれを創み出した日本人の精神に深く結びつけられてこそ理解し得る。私は今年を始めから、財団法人吉野山保勝会の理事長という幸運に巡り会うことができました。与えられた任務を全うすることができれば、宮坂先生の御教示を実践出来たことになると密かに希望を抱いています。吉野山の白山桜を保全すると同時に、可能な限り、吉野山の同胞と共に、この山桜に込められた日本文化、日本精神の高揚に全力を傾けたいと願います。

保勝会総務部からのお知らせ

○国の施策として行われています「法人法の改正」により、本年度中には我々保勝会も「財団法人吉野山保勝会」より「公益財団法人吉野山保勝会」に変更せざるを得なくなります。 変更に伴い 主務管庁の指導を受けて、一部「組織」や「定款」や「会計処理」等 様々な変更を行わなくてはなりません。何卒、皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

○財団法人吉野山保勝会が右記の様なロゴマークの「商標登録」を取得しました。(登録第5354917号)

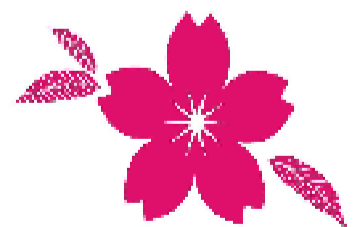
企業・団体等にこのロゴマークを使用していただき、寄付金を頂きたいと考えております。そのような企業・団体等ご紹介下さい。

◇◇◇ 賛助会会員募集中 ◇◇◇

財団法人 吉野山保勝会 〒 639-3115 奈良県吉野郡吉野町吉野山 2430

TEL:0746-32-1877 FAX:0746-32-1217 E-mail hoshoukai@cap.ocn.ne.jp

URL: <http://www.yoshino.ne.jp/yoshinoyama/>



吉野山
SAKURA AID